

日本海ダクト DX チャレンジ 2015 Summer レポート

今年で4年目となる日本海ダクト DX チャレンジも、5月には富山県医王山と秋田県寒風山との間(463.5Km)で5G及び10GのD-ATVがつながってはいますが、更に梅雨明けを待ち青森県と秋田県にて真夏の日本海ダクト DX チャレンジを行いました。しかし2015年夏、春の様な強力なダクトには出会えませんでした。

8月1日 今回は他各局の諸事情により単独行動となった為、秋田県寒風山より足を延ばし、長野から600Km以上北の青森県深浦町黄金崎まで行く事とした。始めて行く場所の為、どんな運用場所が有るのか不明だったので、9各局に聞いたりネットで色々調べたりの準備もしましたが、現地で良さそうな場所は**宿泊者以外進入禁止とか、ビーム方向に2~3m程度の草や樹木があったり、更に車が止められなかったりで、40~50分さまよった後、一候補地としていた海拔30m程の写真の駐車場で運用する事とした。

この日の9側はJA0BNK 医王山移動で、当局は青森県内での運用開始から少しして雨が当りはじめたりした為、設置・撤収待機・再設置と3回も繰り返したが、昼前までの結果では5GFMで一時ピーク59程度までの為、D-ATVは諦めた。

そんな天候でもダクトで相互距離523Kmが5G FMではつながったのだ。

430MHz20W・10エレ八木での連絡波も殆ど届かないので、10Gは断念し撤収。

しかし撤収後には遠方まで青空に・・・まあこんなものか！

せっかく黄金崎(青森県深浦町)まで来たのだから、不老ふ死温泉に浸かって行かないのは勿体ない。特に波打ち際の温泉は「信州人」には最高のロケーション！潮風を浴び、波を眺めながら一時間以上。

その後秋田寒風山まで戻り、FD コンテストと重なっている日の為先客が来ると運用場所が確保しづらくなりそうなので、寒風山運用地点に駐車してから地元スーパーで買って来た食品で夕食を食べそのままゆっくり車中泊。

「寒風山」字の通り、海拔315m地点で窓を閉めた車の中でも暑く無く、寝袋を掛けて寝る。

2日・朝4時半頃起き、周りを眺めると駐車場に他の車は1台。その前にテントを張って寝ていた方がただけで、FD コンテストに来る人もデジ簡 DX チャレンジの方も居ない。気温は20度程だがアンテナ等の準備で風を浴びると寒い！！

秋田市内はガスで見えず、男鹿市がぼんやり見える程度で、コンディションは良くなさそ

うと直感。自販機から暖かいお茶を買って来て簡単な朝食を食べながら、新潟市内の JA0HJC 局と 430 でコンタクトができたので、ダクトも少しはありそうと思えた。

6 時少し前、予定よりかなり早く JA4JKE/4 宮崎さんから「魚見台に現着した」との電話が入るが、モバイルからの 430M は聞こえない。だが 4 から宝達山レピーターはアクセス可能との事。

4 の 430M 八木が整った様なので再度 430 で呼ぶが、良くて M2 程度までしか入らない。続いて 5G も・・・入らない。

その後宝達山に到着した JA0BNK/9 局と JA4JKE/4 局とのコンタクトは問題なくできた様子で一安心。(何が安心したかと言えば、今回の日本海ダクト DX で皆がポーズではない事) JA4JKE/4 と 10G D-ATV まで問題なく繋がった坂上さんは、その後帰路に着いた様で時々モバイルからの信号が聞こえたりしていた。

私と 4 の宮崎さんは更に 11 時過ぎまで粘ったが、5G-FM で一時 FS まで上がった程度で、430M の連絡波もかろうじて入る程度の弱いままだったので、再会を願い撤収とした。D-ATV 映像まで出るには 430 でも FS で飛んでくる様なコンディションが必要なのである。相互距離約 710Km、EME から見たら桁が幾つも違うが、対流圏での 5G では良く飛んだ方かなと思う。

今回ダクトは天気図や予想図から見て、どうも西日本から山形県沖付近までしか伸びて居ない感じで、今年の天気には運が無かったと諦めるしかない。

ダクトコンディションの良い日を選べば良いだろうが、ほとんどの方が無線だけを中心に動ける条件にはなれないだろうから仕方ない。

寒風山からの長野への帰路は 520Km。高速が無い部分が有る為、食事・休息等含め約 8 時間。「日本一大きな花火の長岡まつり」の日に当たり高速も渋滞情報が出ていたが、渋滞には苦しめられなく帰れた。

いつも思うのだが、日本各地に QRV 出来るアクティブ局が点在していれば DX も苦も無く出来る筈であろうが、今は殆ど居ない。

昨今マイクロ波運用をやっている人は国内で何人いるのだろうか？

私がマイクロ波に QSY してきた頃は相当数いたであろうが、各 ML 等々を見ても実際の QRV 情報は十数局もいれば良い方ではないかな？寂しい限りである。

アマチュア無線の衰退も有るが、更に QRV しなくなったのはどうしてか？その原因の一端が判る方はそれなりにアクティブな方かと思えるが。

8 にも D-ATV 所持者は十局以上いると思うが、動く人は少ない。ある方に理由を聞けば

皆もう 70 才台後半でそんなに遠方まで動けないとかで、確かに北海道は広いからなあ。
でも 7 もそうだが、8 は特に一般道で 100km 有っても 2 時間は必要ない程度に走れるはず
だが、歳には勝てないか！

私も動けるうちに、出来る事をしておかないと悔いが残る様な気がするので、条件が許
す限り動き回ろうと思う。

ローカル局だけの通信実験だけではなく、コンタクト相手を国内各地に広げる努力も必
要であろう。

これで当局は今年の「D-ATV のよる日本海ダクト DX チャレンジ」は終了した。
今後も相手が有る限りそして自分が動ける限り、次年度も GW 頃計画してみたいと思う。
日本海ダクト DX チャレンジに参加頂きました皆様、また協力頂きました皆様、ありがとう
ございました。

JA0RUZ 関崎 文男